

広大通信

発行/広島大学広報グループ



【連絡先】
広島大学広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山1-3-2
☎082-424-4518 ☎082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

12/2～ 新型コロナウイルス クラスター対策室本部設置

11月30日から12月2日までに、本学学生3人の新型コロナウイルス感染症が判明。それを受け12月2日よりクラスター対策室に本部が設置された。

クラスター対策室は感染者の状況や濃厚接触者等の情報を一元管理し、対応を遅滞なくスムーズに行うことを目的とする。今後、感染を拡大しないために、濃厚接触者及び接触者等を早期に発見し、自宅待機を要請するなど、対応にあたる。その他、新型コロナウイルスに関する情報は次のとおり。

全ての課外活動中止

今後、課外活動を通して感染が広がることを防ぐため、12月3日から当面の間、本学の全ての課外活動を中止することを決定。なお、この対応については、今後の感染の広がり等を考慮しながら、適宜、延長や見直しを行う。

学内外での感染拡大防止 5つの要請

学長から学生に向け、緊急メッセージを発信。教職員も同様に一人一人が自覚を持って、次の5点を徹底するよう強く要請している。

①体調が悪い時は出勤せず、自宅待機を

発熱、倦怠感、咳、息苦しさ、のどの痛み、頭痛、嗅覚・味覚異常のどれか一つでも症状が該当する場合は自宅待機とし、直ちにかかりつけ医等身近な医療機関か、受診・相談センター(保

「森戸国際高等教育学院北京校」 中国の首都師範大学内に設置へ

広島大学と首都師範大学(中国北京市)は、12月1日、広島大学森戸国際高等教育学院北京校の設置に関する覚書を締結した。

北京校は、広島の日本語・日本文化教育の中心を担っている森戸国際高等教育学院のフランチとして、2021年9月の教育開始を目指して、首都師範大学内に設置準備を進めている。設置後は、首都師範大学の学生をはじめとする、日本語・日本文化に興味のある中国の大学生に対して、実践的な日本語運用能力・日本文化理解力向上のための教育を行っていく予定。



学長は「この北京校の設置により、首都師範大学と本学の連携がますます深まり、両大学がさらに発展していければと願っております」と期待を述べた。

日本貿易振興機構(C 包括連携協定を締結

日本貿易振興機構(ジェトロ)と国際的な学術研究、人材育成及び産学連携などのさらなる協力を目的として、11月20日、包括的な連携推進に関する協定を締結した。

協定に当たり、ジェトロの佐々木伸彦理事長は「世界の様々な研究者や企業等が広島大学に来る仲立ちができるよう、両者の連携を深めたい」と挨拶した。



学長から学生に向け、緊急メッセージを発信。教職員も同様に一人一人が自覚を持って、次の5点を徹底するよう強く要請している。



令和2年度 広島大学 永年勤続者表彰

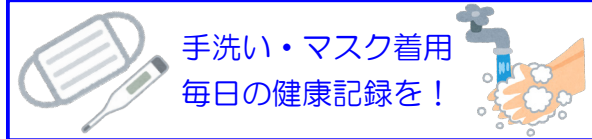
11月16日、令和2年度広島大学職員の永年勤続者表彰式が行われた。受賞者は38人で、学長から表彰状と記念品が授与された。表彰された方は以下のとおり。(敬称略)

- ▼山先直子(東広島地区運営支援部)
- ▼川浪晃裕(同)▼福原智美(同)▼高垣輝忠(霞地区運営支援部)▼野崎和明(同)▼福本祥子(病院)▼中島恵美(病院看護部)▼林谷子(同)▼河本有花(同)▼下光和枝(同)▼山田幸(同)▼池田有里(同)▼岡本ひとみ(同)▼武井麗美(同)▼西村啓子(同)▼福永玲子(同)▼齊藤秀敏(病院診療支援部)▼相田雅道(同)▼藤井優江(病院SPDセンター)▼辻友香梨(病院運営支援部)▼梶田真理(教育部)▼武智哲也(同)▼小野雅子(国際部)▼宮秀貴(学術・社会連携部)▼平田和正(同)▼川北龍司(技術センター)▼山口信雄(同)▼藤原雅志(同)▼松下昌史(同)▼水野佳代(医療政策室)▼田中和敏(財務・総務部)▼玉村優子(同)▼栗田道子(施設部)▼濱口祥世(人事部)▼小林明弘(同)▼下久保晴美(放射光科学センター)▼南亜紀(情報メディア教育研究センター)▼山手紫緒(保健管理センター)

◆ ◆ 行事カレンダー ◆ ◆

12月~1月

12月 1日(火)	第4ターム授業開始(〜2/8)
12月15日(火)	教育研究評議会
12月26日(土)	冬季休業(〜1/5)
1月 4日(月)	仕事始め式
1月16日(土)	大学入学共通テスト
〜17日(日)	//
1月19日(火)	教育研究評議会
1月28日(木)	経営協議会

手洗い・マスク着用
毎日の健康記録を！

▼宇都宮大学・池田幸氏(元本学工学部助教) ▼岐阜聖徳学園大学・観山正見氏(現本学特任教授) いずれも来年4月に就任予定、任期は4年間。

2大学の
新学長に

本学教員らが
2大学の
新学長に

本学学生の人材育成をはじめ、地域社会全体の活性化に貢献していく。

第51回/12月7日(月)は越智智学長が出演。第52回/12月21日(月)は人間社会科学研究科の鈴木由美子教授(附属中・高等学校)が出演予定。中高生に向けて、自身の経験や研究内容などを語る。(21時30分から5分程度)



12月の放送(広島FM)

キャンパス内全面禁煙

令和2年11月6日

【大学間国際交流協定】
▼マカッサル州立大学(インドネシア) / 令和2年10月22日 ▼マレーシア サバ大学(マレーシア) / 令和2年11月6日

締結した協定

浅枝 正司 様
石堂 裕二 様
石通 宏行 様
伊林 文子 様
医療法人SBC中光整形外科 リハビリクリニック 様
院長 中光 清志 様
医療法人エム・エム会 様
理事長 白川 泰山 様
理事長 白川 泰山 様
理事長 越智 温子 様
医療法人MCC 様
金谷整形外科クリニック 様
理事長 金谷 篤 様

広島大学基金寄附者
ご厚意に深く感謝申し上げます。

株式会社日経不動産 様
株式会社日本クライメイトシステムズ 様
代表取締役社長 松尾 則宏 様
株式会社バルコム 様
代表取締役 山坂 哲郎 様
株式会社やまだ屋 様
代表取締役 中村 靖満 様
久高 靖 様
児玉 眺子 様
小林 健二 様
坂下 勝 様
佐久間 雅子 様
佐々木 元 様
佐藤 利行 様
清水 栄治 様
鈴木 康平 様
鈴木 敏夫 様
平 幸子 様
高橋 康平 様
武市 宣雄 様
田中 純子 様
土谷 真三 様
戸田工業株式会社 様
取締役社長 寶来 茂 様
内藤 亨 様
中村 昂江 様
中村 文三 様
難波 竜芳 様
榎垣 重俊 様
平尾 泰保 様
普家 朋子 様
弁護士 緒方 俊平 様
松尾 英貴 様
松村 武 様
皆本 仁美 様
三原 祥嗣 様
三好 薫 様
保田 秀洋 様
山本 純弘 様
和食 靖 様

医療法人社団楓会林病院 様
理事長 林 淳二 様
医療法人社団慈恵会 様
院長 大杉 健 様
医療法人社団仁慈会 様
理事長 安田 克樹 様
医療法人社団スマイル博愛クリニック 様
理事長 高杉 啓一郎 様
医療法人社団清流会 様
理事長 永井 賢一 様
医療法人社団マッキー 様
理事長 松本 啓 様
医療法人社団まりも会 様
理事長 平松 廣夫 様
医療法人昭和 様
理事長 原田 昭 様
医療法人せいざん青山病院 様
院長 大村 泰 様
医療法人明笑会 様
理事長 安本 正徳 様
牛尾 やよい 様
大賀 裕見子 様
小谷 美奈子 様
小笠原 文武 様
奥田 晃章 様
オタフクソース株式会社 様
代表取締役会長 佐々木 直義 様
越智 光夫 様
加藤 正昭 様
株式会社紀陽 様
代表取締役社長 寒川 起佳 様
株式会社総合広告社 様
代表取締役副会長 坪井 高義 様
株式会社にしき堂 様
代表取締役社長 大谷 博国 様

(五十音順)
※10月1日から10月31日までにご寄附をいただき、公開について承認いただいた方を掲載。給付控除による分割寄附の方は、初回控除の時のみ掲載。

万全のコロナ対策で
ホームカミングデーをリアル開催

11月7日に東広島キャンパス、14日に霞キャンパス、21日に東千田キャンパスで、第14回広島大学ホームカミングデーを開催した。

新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、例年と異なるプログラムで実施。生物学者の福岡伸一氏による講演をはじめ、各学部・研究科等の特色ある企画や物産展が行われ、会場のあちこちで久しぶりの再会を喜ぶ姿が見られた。

なお、今回初めてオンラインホームカミングデーを同時開催し、遠方に住む方々にも参加いただいた。

当日のプログラムや動画は、左記URLから視聴できる。(https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/home/online)



(工学部創立100周年記念オブジェ テープカット)

また、工学部では、前身校・広島高等工業学校の設立から今年で創立100周年を迎えるにあたり記念事業を行った。

披露された記念オブジェは、「出迎える門」と「智慧の踊り場」。

広島大学スポーツセンターの看板を除幕

10月27日、スポーツセンターの看板除幕式を行った。当センターは従来のスポーツ科学センターの機能を拡充・強化し10月1日に設置された。

越智智学長は「広島県内唯一のスポーツ医科学を専門とする、本学病院スポーツ医科学センターとも連携し、アスリート・パラアスリートの皆さんを積極的に支援していきたい。」と挨拶。出口達也センター長は「学生や教職員が安心安全にスポーツ活動を行えるよう、全学的な環境づくりをしていきたい。」と述べた。スポーツを通じた教育、研究、社会貢献により、本学学生の人材育成をはじめ、地域社会全体の活性化に貢献していく。

これまでの100年への感謝と今後の更なる飛躍を期待し、学生・教職員が憩える場となるよう、思いが込められている。